

第3回スポーツによる地域活性化懇話会 概要

1. 日時

令和2年5月22日（金曜日）午後2時00分～午後3時30分

2. 場所

山梨県庁2階特別会議室（テレビ会議システム）

3. 出席者

○ 構成員

高橋義雄、大浦征也、中嶋文彦、古屋光司、山下修作、吉永憲

※座長以外は五十音順、敬称略

○ 山梨県

知事、スポーツ振興局長

4. 会議概要

- ・ 「観る」、「する」、「支える」というスポーツの3要素をどこまで具現化していくかが、スポーツコミッションの大きなテーマの一つになる。
- ・ with コロナと言われる中で、どのようにスポーツを再開していくのか、あるいは新しい観戦方法というようなことも含め、スポーツコミッションの一つの役割にしても良い。
- ・ スポーツがより安全にできるために、様々なテクノロジー利用により、密やコンタクトを避ける適切なやり方で安全性を確保する、あるいはテクノロジーにより楽しさが増す、というような様々な導入が、今後長期的に必要なようになってくる。
- ・ スポーツコミッションの機能については、最終的には、設立した後にトライアンドエラーで考え続ける中で、失敗もするだろうが、そこから次を考えていくという継続が大事。
- ・ 自治体や政府からの補助金を受け、それだけをこなすというスポーツコミッションではなく、もっとチャレンジングなことをやらなければならない。
- ・ スポーツコミッションも、理念をしっかりと作れば、その実現のためにはどういう形態の組織であるべきか、どういうスペックの人がいるべきか、といったことにつながり、長く組織が続いたり、応援してくれる人が多く出てくる。